

日本薬局方 アミノ安息香酸エチル

※※ アミノ安息香酸エチル「ファイザー」原末

Ethyl Aminobenzoate [Pfizer] Powder

※※ 承認番号	22700AMX00225
※※ 薬価収載	2015年6月
販売開始	1952年7月
再評価結果	1979年2月

貯法：室温保存
使用期限：最終年月を外箱等に記載

【禁忌（次の患者には投与しないこと）】

1. 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 乳幼児〔メトヘモグロビン血症をおこすおそれがある。（「小児等への投与」の項参照）〕

※※【組成・性状】

1. 組成

1g中：

販売名	アミノ安息香酸エチル「ファイザー」原末
成分	
有効成分	日局 アミノ安息香酸エチル 1g

2. 性状

本剤は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味はやや苦く、舌を麻ひする。

【効能・効果】

〈経口〉

下記疾患に伴う疼痛・嘔吐
胃炎、胃潰瘍

【用法・用量】

〈経口〉

通常、成人にはアミノ安息香酸エチルとして、1日0.6～1gを3回に分割経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	過敏症状
消化器 ^{注2)}	食欲不振、悪心、口渇、便秘、下痢等
血液 ^{注3)}	メトヘモグロビン血症

注1：このような場合には投与を中止すること。

注2：このような症状の継続又は増強がみられた場合は、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

注3：異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕

4. 小児等への投与

乳幼児には投与しないこと。〔メトヘモグロビン血症が報告されている。〕

5. 適用上の注意

投与時

- (1)長期連続投与は避けること。
- (2)服用にあたっては、口内にしびれ等を残さないため速やかに飲みくたすよう注意させること。

【薬効薬理】

神経細胞膜のNa⁺チャネルを抑制することによって神経の活動電位発生を抑制するという局所麻酔薬共通の作用により、知覚神経の求心性伝導を抑制する¹⁾。

【有効成分に関する理化学的知見】

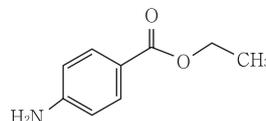
一般名：アミノ安息香酸エチル（Ethyl Aminobenzoate）

化学名：Ethyl 4-aminobenzoate

分子式：C₉H₁₁NO₂

分子量：165.19

構造式：



性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、味はやや苦く、舌を麻ひする。

エタノール（95）又はジエチルエーテルに溶けやすく、水に極めて溶けにくい。

希塩酸に溶ける。

融点：89～91℃

※※【包装】

アミノ安息香酸エチル「ファイザー」原末：500g

【主要文献】

1) 第十六改正 日本薬局方解説書 廣川書店：C-256, 2011 [L20130822164]

※【文献請求先】

ファイザー株式会社 製品情報センター
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
学術情報ダイヤル 0120-664-467
FAX 03-3379-3053



【製造販売元】

マイラン製薬株式会社
大阪市中央区本町2丁目6番8号

※【販売】

ファイザー株式会社
東京都渋谷区代々木3-22-7



2015.6 ⑱
002